

SIM™

製品・テクノロジー チューニングマニュアル
 「SIM ドライバー」「SIM MAX ドライバー」「SIM フェアウェイウッド」



ゴルフ界における数多くのイノベーションと革新的技術の歴史に支えられ、テーラーメイド ゴルフの次世代メタルウッドは再びデザインとパフォーマンスの限界を押し広げることに成功しました。この新しい「SIMシリーズ」を誕生させるにあたり、われわれはドライバーのシェイプを再構築しました。新たに設計された強靱なアシンメトリーデザインソールが生む改良されたエアロダイナミクス技術を通じて、スイングの最も重要な局面（ダウンスイングからインパクト）でクラブヘッドが受ける空気抵抗が低減されることで、クラブヘッドスピードの向上が実現するのです。テーラーメイドが先鞭をつけたスライディング・ウェイト・システムに加え、アライメントおよび視覚効果を向上させた革新的なカラーリングのクラウン、そして何よりも1979年に史上初のメタルウッドを生み出したブランドとして、われわれは再びドライバーデザインの常識を覆します。「SIMドライバー」「SIM MAXドライバー」こそが、「最先端のパフォーマンスを生む新しいシェイプ」なのです。

SIM シリーズの調整方法

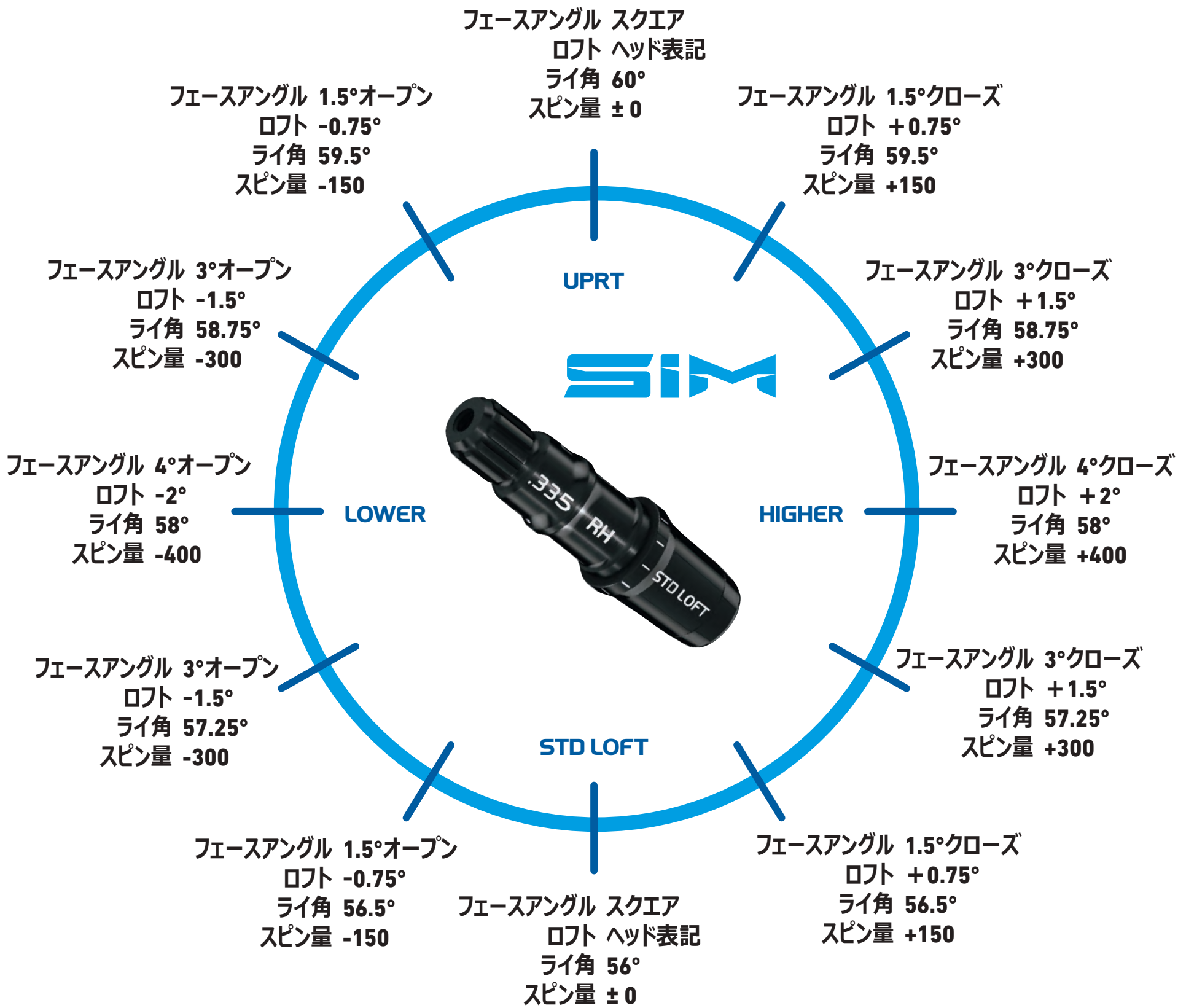
「SIMドライバー」「SIM MAXドライバー」「SIMフェアウェイウッド」は、テーラーメイド社製専用トルクレンチ（ドライバー付属）を使えば簡単に調整することが可能です。ロフトスリーブを調整してロフト角やライ角を変更したい場合は、まずシャフト先端とクラブを接続しているスクリューを専用トルクレンチで緩めてヘッドを外します。変更したいポジションにヘッドのホーゼルを合わせてスリーブを差し込み、トルクレンチでスクリューを回して締め付けます。トルクレンチから「カチッ」と音が聞こえるまで回せば、調整完了です。「SIMドライバー」の「スライディング・ウェイト・システム」を調整して左右弾道調整をしたい場合は、トルクレンチでウェイトのスクリューを回して緩め、ウェイトを動かして変更したいポジションまで移動させます。ポジションが決まったら、再びトルクレンチでスクリューを回して締め付け、トルクレンチから「カチッ」と音が聞こえれば調整完了です。



STEP 1

ロフトスリーブ [ロフト角 & ライ角調整]

「SIMドライバー」「SIM MAXドライバー」「SIM フェアウェイウッド」に搭載されている「ロフトスリーブ」は、ロフト角を基準値（ヘッド記載ロフト）の -2° から $+2^\circ$ 、ライ角を基準値から $+4^\circ$ の範囲で12通りのポジションに選択することができます。各ポジションでのロフト角およびライ角については、下記をご確認ください。



※レフトハンドモデルも同様です。

STEP 2

スライディング・ウェイト・システム [左右弾道調整]

「SIMドライバー」のソールには「スライディング・ウェイト・システム」が搭載されており、レール上にあるウェイト（10g）のポジションを変更することで左右（ドロー・フェード）の弾道調整を可能にします。

フェード



最大曲がり幅
20ヤード



ウェイトを「FADE」のポジションに設定すると、球のつかまり過ぎを抑制できます。

ニュートラル



ウェイトをレールの中央に設定すると、ニュートラルな弾道となります。

ドロー



最大曲がり幅
20ヤード



ウェイトを「DRAW」のポジションに設定すると、球がつかまりやすくなります。

TaylorMade®

SIMTM
SHAPE IN MOTION